

間諜最後の日 (1936)

THE SECRET AGENT

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 イギリス
色彩 B&W
時間 87分
初公開日 1938/03
公開情報 劇場公開
リバイバル 1996/05 [ヘラルド]

【解説】

敵スパイ頭領暗殺の秘密指令を受け、スイスに向かった英国諜報部員アシェンデン（ギールグッド）は、目的の人物の特徴を一切知らず、誤って全く無関係な観光客を殺してしまう……。敵の巢窟がチョコレート工場にあるなど、観光映画的側面に気を遣ったと、ヒッチ自身も述べる細部に凝った作品だが、全体のアイデアは必ずしも観客の共感を呼べるものではない。が、主人公と行動を共にする“将軍”の存在が映画を面白くしている。最後に列車事故があり、ここでかなり陰鬱なハッピーエンドを迎える所も、時代の先取りの興味深い。将軍を演じるP・ローレが、頭にパーマをかけて黒いドーランを塗り、メキシコ人になり切って不気味。

【クレジット】

監督	アルフレッド・ヒッチコック	Alfred Hitchcock
原作	サマセット・モーム	Somerset Maugham
脚本	チャールズ・ベネット	Charles Bennett
撮影	バーナード・ノールズ	Bernard Knowles
音楽	ルイス・レヴィ	Louis Levy
出演	ジョン・ギールグッド	John Gielgud
	パーシー・マーモント	Percy Marmont
	ピーター・ローレ	Peter Lorre
	マデリーン・キャロル	Madeleine Carroll
	ロバート・ヤング	Robert Young
	リリー・パルマー	Lilli Palmer